

8-4-23 無電柱化WG

1. 主な活動の記録

(1) 無電柱化 WG の開催

WG 開催回数：1 回（5 月）

委員への意見照会：3 回（5 月、9 月、12 月）

(2) 活動報告

a) 無電柱化 WG 活動

当 WG では無電柱化の更なる推進に向けた無電柱化整備の低コスト化や事業のスピードアップ、および管路材性能について、各種会議の対応と意見照会・事例共有等を実施した。

b) 無電柱化推進技術検討会への対応

・無電柱化推進技術検討会：3 回

（7 月、9 月、1 月）

防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成の観点から無電柱化に取り組んできたが、近年の災害の激甚化・頻発化によりその必要性が一層高まっており、無電柱化の促進に向け、整備の更なる低コスト化、事業のスピードアップ化が求められている。

当 WG では国土交通省道路局環境安全・防災課の要請により「無電柱化推進技術検討会」へ参加し、無電柱化整備における課題解消や技術開発に参画している。無電柱化推進技術検討会は、学識者をはじめ、電力、通信、民間、UR 都市機構、コンサルの代表者で構成され、検討会では設計者の立場から事例や意見を提示した。

c) 低コスト推進 WG への対応

・低コスト推進 WG：3 回（7 月、9 月、3 月）

無電柱化推進技術検討会の下部 WG である「低コスト推進 WG」に参加し、特殊部や管路構造、新技術等の検討内容に対し、設計者の立場から意見を提示した。

d) 面整備事業における無電柱化推進 WG の参画

・面整備事業における無電柱化推進 WG：3 回

（9 月、11 月、3 月）

官または民で行なわれる開発事業において無電柱化に取り組む際の参考資料として国土交通

省都市局都市計画課から発出されている「市街地開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン」および「開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン」の改訂について設計者の立場から意見を提示した。

e) 活動成果

今年度も無電柱化に関連する各会議に参画し、無電柱化整備の低コスト化やスピードアップ、管路性能等について、設計コンサルタントのこれまでのノウハウ・経験を活かし、設計者の立場から実現に向け積極的な意見を提示した。また、各種手引きやガイドライン策定・改訂へのプロセスの一端を担った。

2. 次年度の活動について

無電柱化の更なる推進のため、無電柱化事業の低コスト化・スピードアップ化に向け、引き続き活動を継続するとともに、無電柱化の促進に関する各種会議に積極的に参画し、設計者の立場から意見するとともに、技術的ノウハウの普及に努めていく。

（無電柱化WGWG長 沼田 和宏）